**■長崎県西海市長**

**ゼロカーボンシティ表明内容（所信表明の抜粋）**

**１． 脱炭素社会に向かうまち西海市**

国が示した「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向けて、西海市が「脱炭素社会に向かう地域」となるため、江島沖洋上風力発電の促進区域の指定に全力で取り組み、県内造船業などへの経済波及効果や市内の雇用促進に繋げてまいります。

また、高効率発電システムへの転換を図る「松島火力発電所」や高付加価値船・省エネ船の建造・研究に取り組む「大島造船所」など、地元企業と協力体制をとり、さらには、豊かな森林資源を有する本市の特性を活かし、市内産木材の生産、加工・消費の循環を目指す「緑の産業」創出を推進してまいります。

そのため、本市もここに、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」へチャレンジすることを、正式に表明し、カーボンニュートラルを目指す企業の投資を本市に誘導できるように努めてまいります。

なお、脱炭素社会に向けたモデル地域づくりや産業、地域振興を強力に推進していくため、さいかい力創造部に「新エネルギー政策課」を新設いたしました。